

ユーザーマニュアル

ET-06 · バージョン 1.0.1 · EXÓTICO RECORDS

日本語

CONTENTS

目次

01 **はじめに**
Exotic Tape とは、動作環境、最初の一歩

02 **インストール**
Windows、macOS、DAW での見つけ方

03 **画面の見方**
画面の各部を番号つきで紹介

04 **テープの摩耗**
テープの劣化のしかたと音の変化

05 **6 つのセレクター**
SPEED、TAPE、EMPHASIS、RECORD、COMPANDER、OVERSAMPLING

06 **ノブ、メーター、ボタン**
6 つのノブ、VU、HF 表示、BYPASS

07 **プリセット**
24 のファクトリープリセットと自作プリセット

08 **セッションでの使い方**
ウィンドウ、オートメーション、負荷、使い方のヒント

09 **よくある質問**
よく寄せられる質問

10 **仕様とサポート**
技術データ、パラメーター、お問い合わせ

01

はじめに

Exotic Tape は、オープンリール式テープマシンのプラグインです。最大の特徴は、使うほどテープがすり減っていくことです。

オーディオが通るたびに、テープの使用時間が加算されます。その時間は音に表れます。高域が下がり、ノイズが増え、走行が不安定になり、短いレベルの落ち込みが起こり、ひとつ前の巻きのエコーが聞こえるようになります。そのテープが合わなくなったら、新しいテープに交換します。

私たちは、個性のあるミックスと制作のためにこのプラグインを作りました。新しいテープなら、バスやミックス全体に厚みとまとまりを加えます。200 時間使ったテープなら、クリーンなループを古いアーカイブから出てきたような音に変えます。

動作環境

OS	フォーマット	プロセッサー
Windows 10 / 11（64 ビット）	VST3	x64
macOS 11（Big Sur）以降	VST3、Audio Unit（AU）	Intel、Apple Silicon（ユニバーサルバイナリ）

64 ビットの VST3 または AU プラグインを読み込める DAW が必要です。たとえば FL Studio、Ableton Live 11 以降、Logic Pro、Cubase、Studio One、Reaper、Bitwig Studio などです。モノラルとステレオのトラックで動作し、サンプルレートは問いません。

パネル上のスペイン語表記

パネルの一部の表記はスペイン語です。このマニュアルでは画面どおりの表記を使います。`DESGASTE` = 摩耗、`FIJAR DESGASTE` = 摩耗を固定、`CINTA NUEVA` = 新しいテープ、`CARGAR CINTA` = テープを読み込む、`EDAD` = テープの経年度。

最初の一歩

1. Exotic Tape をトラック、バス、またはマスターにエフェクトとして挿入します。
2. プリセットを選びます。`EXOTICO` › `Studio Reel` から始めるのがおすすめです。
3. 再生します。リールが回り、VU の針が動き、カウンターが時間を加算しはじめます。
4. 待たずに摩耗したテープを聴くには、`CARGAR CINTA` をクリックして **Very worn - 200 hours**（かなり摩耗）を選びます。
5. `DESGASTE` を回して、その経年をどれだけ聴かせるかを決めます。
6. `BYPASS` をオンにして、元の信号と比べます。

ヒント

ミックスやマスタリングで毎回同じ音が必要なときは、`FIJAR DESGASTE` をオンにします。テープの劣化は止まり、それ以外はすべてそのまま動作します。

02

インストール

テスト版

このバージョンは、テスターコードを持つ Exótico Records のアーティスト向けです。インストーラーにはデジタル署名がないため、初回は Windows と macOS が警告を表示します。続け方を以下で説明します。

Windows

1. DAW を終了します。
2. `ExoticTape-Tester-1.0.1-Windows.exe` を開きます。
3. **「Windows によって PC が保護されました」**と表示されたら、**詳細情報**をクリックし、続いて**実行**をクリックします。
4. インストーラーの言語を選び、手順に従います。以前のテスト版は置き換えられます。
5. DAW を開き、プラグインを再スキャンします。Exotic Tape はメーカー **Exotico Records**、カテゴリー **Fx / Distortion** に表示されます。

インストール先： `C:\Program Files\Common Files\VST3\Exotic Tape.vst3`

アンインストール： 設定 › アプリ › インストールされているアプリ › **Exotic Tape** › アンインストール。プリセットは削除されません。

macOS

1. DAW を終了します。
2. `ExoticTape-Tester-1.0.1-macOS.pkg` を開きます。Apple の署名がないため、初回は macOS がブロックします。
   - **macOS 14 以前：**ファイルを右クリック（または Control + クリック）› **開く** › **開く**。
   - **macOS 15 以降：**一度開こうとしてから、**システム設定 › プライバシーとセキュリティ**で**このまま開く**をクリックします。
3. インストーラーの手順に従います。システムのフォルダーにインストールするため、コンピューターのパスワードを求められます。
4. DAW を開きます。Logic Pro では **Audio Units › Exotico Records › Exotic Tape** に表示されます。

インストール先（ユーザーのフォルダーではなく、ディスク直下の Library フォルダーです）：

- `/Library/Audio/Plug-Ins/VST3/Exotic Tape.vst3`
- `/Library/Audio/Plug-Ins/Components/Exotic Tape.component`

これらのフォルダーを開くには、Finder の**移動 › フォルダへ移動**（Shift + Command + G）を選び、パスを入力します。

アンインストール：上の 2 つのファイルを削除します。

DAW での見つけ方

メニュー名は DAW のバージョンや言語によって異なる場合があります。

DAW	手順
FL Studio	**Options › Manage plugins** を開き、プラグインをスキャンします。一覧に Exotic Tape が表示されます。お気に入りに登録すると、エフェクトのブラウザーに表示されます。
Ableton Live	**Settings › Plug-Ins**（Live 11 では **Preferences › Plug-Ins**）で **Use VST3 Plug-In System Folders** をオンにし、Mac では **Use Audio Units** もオンにします。**Rescan** をクリックし、ブラウザーの **Plug-Ins › VST3**（または **Audio Units**）› **Exotico Records** から探します。Live 10 は VST3 を読み込めないため、Mac では Audio Unit 版を使ってください。
Logic Pro	**Audio Units › Exotico Records › Exotic Tape**。表示されない場合は **Logic Pro › 設定 › プラグインマネージャ**を開き、もう一度検査します。
Cubase、Studio One、Reaper、Bitwig	システムの VST3 フォルダーを再スキャンします。Exotic Tape はメーカー Exotico Records として表示されます。

表示されない場合

ファイルが上記のフォルダーにあるか確認し、DAW を再起動してから完全なスキャンを実行します。Ableton Live では、Alt キー（Mac では Option キー）を押しながら Rescan をクリックすると、すべてのプラグインを改めて確認します。

03

画面の見方

すべての操作はひとつの画面で行います。画像の番号は、下の一覧とこのマニュアルの各セクションに対応しています。



新しいテープ（0 時間）を入れた Exotic Tape。

1. **ロゴとモデル名。**Exotic Tape、ET-06。
2. **プリセットのカテゴリー。**EXOTICO、DRUMS、BASS、KEYS、VOCALS、MASTER、FX、USER（自作）。
3. **プリセット。**選んだカテゴリーのプリセット一覧。
4. **< >** 前と次のプリセット。
5. **SAVE。**現在の設定を自作プリセットとして保存。
6. **BYPASS。**元の信号を聴いて比較。
7. **CARGAR CINTA**（テープを読み込む）。0、2、20、200 時間のテープに交換。
8. **ウィンドウサイズ。**75 % から 200 %。
9. **リール。**テープの走行中に回り、経年で見た目が変わる。
10. **VU。**テープに入るレベル。
11. **カウンター。**このテープの使用時間（時間単位）。
12. **時間と EDAD**（経年度）。小数点以下 2 桁の時間、経年度のパーセント、経年度バー。
13. **セレクター。**SPEED、TAPE、EMPHASIS、RECORD、COMPANDER、OVERSAMPLING。
14. **ノブ。**DESGASTE、WOW、HISS、BUMP、MIX、OUTPUT。
15. **FIJAR DESGASTE**（摩耗を固定）。テープの劣化を止める。
16. **CINTA NUEVA**（新しいテープ）。テープを 0 時間に戻す。
17. **HF。**現在、高域がどの周波数まで出ているか。

04

テープの摩耗

摩耗こそが Exotic Tape の個性です。インスタンスごとに専用のリールがあり、そのリールが使うほど古くなっていきます。

テープの経年度とは

Exotic Tape は、テープを通ったオーディオの時間を数えています。その時間はカウンター **(11)** に表示され、その下の行 **(12)** には小数点以下 2 桁の時間と **EDAD**（経年度）のパーセントが表示されます。文字の下の琥珀色のバーは、テープが古くなるにつれて伸びていきます。

経年度は直線的には増えません。最初の数時間で音は大きく変わり、その後の変化はだんだん緩やかになります。テープが鳴らなくなることはありません。200 時間ほどを過ぎると、ほとんど変化しなくなります。カウンターは最大値の **500 時間**で止まります。

テープの使用時間	EDAD	高域の上限（HF）	ノイズ
新品	0 %	15.3 kHz	基準
30 分	10 %	13.0 kHz	+2.5 dB
2 時間	22 %	10.7 kHz	+4.7 dB
8 時間	44 %	7.6 kHz	+7.6 dB
20 時間	63 %	5.5 kHz	+9.6 dB
50 時間	82 %	4.1 kHz	+11.2 dB
200 時間	98 %	3.2 kHz	+12.3 dB
500 時間（最大）	100 %	3.1 kHz	+12.5 dB

SPEED 15 IPS、TAPE 456、DESGASTE 100 % のときの値です。

音の変化

テープが古くなると、本物のテープと同じように、いくつもの要素が同時に変わります。

- **高域。**高域の上限が下がり、音が暗く柔らかくなります。**HF (17)** にその上限が kHz で表示されます。
- **ノイズ（ヒス）。**新しいテープより最大 12.5 dB 大きくなり、こもった音色になります。
- **走行の安定性。**ワウ（ゆっくりした速度の揺れ）とフラッター（速い揺れ）が増えます。マシンのピンチローラーに汚れがたまるように、ワウのほうが早く増えます。
- **ドロップアウト。**1.5〜5 dB、15〜90 ミリ秒の短いレベルの落ち込みが、最大で 10 秒に 5 回ほど起こります。低域より高域が大きく落ちます。最大 0.6 dB のわずかなレベルの揺れも加わります。新しいテープでは起こりません。
- **プリントスルー（転写）。**リール 1 周前に鳴った音が、ごく小さなエコーとして聞こえます。新しいテープでは聞こえず、寿命の終わりには −31 dB に達します。
- **サチュレーション。**摩耗した磁性体はヘッドルームを最大 2 dB 失うため、早めに飽和します。

`COMPANDER` がオンのときは、デコーダーがこれらの変化をすべて強調します。ノイズが音楽に合わせて呼吸し、レベルがポンピングします。理由はセクション 05 で説明します。

プラグインの色が変わる理由

プラグインは、テープの経年を画像でも示します。EDAD が 1 ポイント上がるごとに、シャーシ、リールのテープ、その縁が、新品の見た目から使い込んだ見た目へ少しずつ変わります。これは不具合でもテーマの変更でもありません。カウンターと同じ情報で、テープの使用具合がひと目でわかるようにするためのものです。



新品 · 0 時間 · 0 %



摩耗 · 20 時間 · 63 %



かなり摩耗 · 200 時間 · 98 %

画像はテープの実際の経年度に連動し、`DESGASTE` ノブには連動しません。DESGASTE を 0 にすると、音は新品になりますが、見た目は経年したままです。

使用時間が加算されるとき

テープの使用時間が加算されるのは、テープが実際に走行しているときだけです。

- DAW のトランスポートが再生中のとき（トラックが無音でも加算されます）。
- トランスポートが止まっていても、入力に信号（−90 dBFS 以上）が入っているとき。たとえば、再生を止めたままサンプル、鍵盤、パッドを鳴らした場合です。

次の場合は加算**されません**。

- 書き出し、バウンス、フリーズ、オフラインレンダリングのとき。書き出しの間は経年度が変わらないため、2 回書き出しても同じ音になります。ノイズとドロップアウトはランダムなので、2 つのファイルはサンプル単位では一致しません。
- `FIJAR DESGASTE` がオンのとき。
- `BYPASS` がオンのとき。
- プラグインを開いていても、トランスポートが止まっていて信号がないとき。

> 常時ノイズに注意
>
> Exotic Tape の前に、常にノイズを出すもの（別のテープやレコードのエミュレーター、ノイズを含むシンセサイザー、開いたままのオーディオ入力など）があると、入力が無音にならず、再生していなくても使用時間が加算され続けます。その場合は `FIJAR DESGASTE` をオンにしてください。

経年度の保存先

- **プロジェクトに保存。**プロジェクトを保存すると、各テープの経年度も保存されます。別の日に開いても、テープは前回の続きから始まります。
- **インスタンスごとに 1 本のテープ。**挿入した Exotic Tape はそれぞれ専用のリールを持ちます。新しいインスタンスは新しいテープ（0 時間）で始まります。
- **プリセットには保存されません。**プリセットを読み込んでも保存しても、テープの経年度は変わりません。
- **トラックを複製したとき**は DAW によって異なります。プラグインの状態をコピーする DAW では使用時間も引き継がれ、新しいインスタンスを作る DAW では 0 から始まります。

テープのコントロール

CARGAR CINTA テープを読み込む · ボタン · 上部バー（7）

決まった経年度のテープに交換し、待たずに効果を聴けます。**New**（新品、0 時間）、**Used**（使用済み、2 時間）、**Worn**（摩耗、20 時間）、**Very worn**（かなり摩耗、200 時間）から選びます。システムがスペイン語でない場合、メニューは英語で表示されます。音と画像が変わり、新しい経年度はプロジェクトに保存されます。確認なしで現在の経年度を置き換えるため、それまでの使用時間は失われます。

CINTA NUEVA 新しいテープ · ボタン（16）

カウンターを 0 に戻します。元に戻せない操作なので、確認画面が表示され、消える時間数が示されます。ほかのコントロールは変わりません。テープがすでに 0 時間のときは淡色で表示されます。

FIJAR DESGASTE 摩耗を固定 · オン／オフボタン（15）

テープの経年を止めます。オーディオとリールは動き続けますが、カウンターは進みません。オンのときはボタンが琥珀色に点灯します。パラメーターなので、プリセットに保存され、オートメーションも可能です。

DESGASTE 摩耗 · ノブ · 0〜100 % · 初期値 100 %

蓄積した経年をどれだけ聴かせるかを決めます。100 % ではテープの現状どおりの音、0 % では常に新品の音になります。ノブを下げても使用時間は消えません。テープは劣化を続け、カウンターも加算を続けます。

摩耗の量を正確に選ぶには

聴こえる経年度は、テープの **EDAD** に **DESGASTE** ノブの値を掛けたものです。これを使えば、待たずにどの状態にもできます。

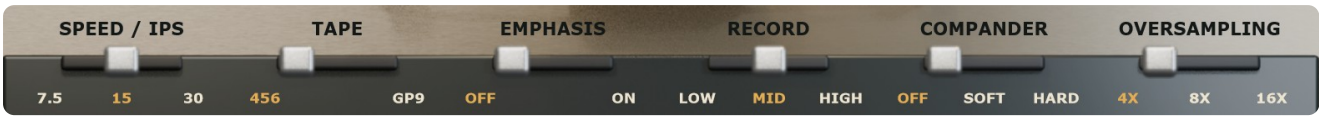
1. **CARGAR CINTA** › **Very worn - 200 hours**（EDAD 98 %）をクリックします。
2. これ以上変化させたくない場合は、**FIJAR DESGASTE** をオンにします。
3. **DESGASTE** を好みの位置まで回します。100 % で最大の摩耗、50 % で 10 時間ほど使ったテープに近い音、0 % で新品の音になります。

ノブを回しながら **HF** 表示を見てください。高域がどこまで出ているかがリアルタイムでわかります。

> 使い方に注意
>
> 使用時間が長いテープほど個性が強く、音も大きく変わります。かなり摩耗したテープはエフェクトであり、すべてのトラックに使うものではありません。ある時点の音が気に入ったら、FIJAR DESGASTE をオンにしてください。

05

6 つのセレクター



セレクター **(13)** では、マシンとテープの種類を選びます。選択肢をクリックする、レバーをドラッグする、マウスホイールを回す、キーボードの矢印キーを押す、のいずれかで切り替えます。選ばれている項目は琥珀色で表示されます。

SPEED / IPS 7.5 · 15 · 30 · 初期値 15

テープの速度（インチ毎秒、IPS）。音のキャラクターをもっとも大きく変えるセレクターです。

	7.5 IPS	15 IPS	30 IPS
低域の盛り上がり（ヘッドバンプ）	50 Hz、+2.5 dB	70 Hz、+1.2 dB	110 Hz、+0.35 dB、90 Hz 以下 −1.5 dB
新品テープの高域（GP9 / 456）	12.0 / 10.2 kHz	18.0 / 15.3 kHz	22.0 / 18.7 kHz *
ワウとフラッター	60 % 増	基準	35 % 減
ノイズ	+3.5 dB	基準	−3.1 dB
プリントスルー（1 周）	900 ms	620 ms	380 ms
ドロップアウト	2 倍の長さ	基準	半分の長さ

* 実際の上限は、サンプルレートの 45 % を超えません（例：44.1 kHz で 19.8 kHz）。

7.5：太い低域、短い高域、大きめの揺れ。ローファイやアーカイブ的な音に最適です。**15**：スタジオの標準で、バランスのよい音。**30**：高域が伸び、ノイズが少なく、低域が引き締まります。もっとも透明な音です。

TAPE 456 · GP9 · 初期値 456

テープの種類（磁性体の配合）です。

- **456**：早めに飽和し、圧縮感が強く、偶数次倍音が多くなります。高域の上限は 15 % 低めです。太く暖かい音です。
- **GP9**：飽和までのヘッドルームが 4 dB 大きく、ノイズが約 5 dB 少なく、高域が伸び、圧縮感は控えめです。クリーンで開放的な音です。

EMPHASIS OFF · ON · 初期値 OFF

スタジオ用マシンの録音・再生イコライゼーションをかけます。7.5 IPS と 15 IPS では NAB、30 IPS では AES です。テープの前で高域を（NAB では低域も）持ち上げ、テープの後でまったく逆のカーブをかけます。そのため音のバランスは変わらず、変わるのは途中で起こることです。持ち上げた帯域が強くテープに入って早めに飽和し、再生時にはノイズが下がります。

両端の帯域をより飽和させ、ヒスを減らしたいときに使います。ファクトリープリセットはこのセレクターを変更しません。

RECORD LOW · MID · HIGH · 初期値 MID

録音レベル、つまりテープに入るレベルです。**LOW** は 6 dB 下げ、**MID** はそのまま、**HIGH** は 6 dB 上げます。テープの後で同じ量を補正するため、出力の音量はあまり変わりません。変わるのはキャラクターです。

- **HIGH**：飽和と圧縮が増え、ヒスは音楽に埋もれやすくなります。
- **LOW**：テープはクリーンなままで、ヒスが目立ちやすくなります。

VU **(10)** は、RECORD の後でテープに入るレベルを示します。

COMPANDER OFF · SOFT · HARD · 初期値 OFF

スタジオ用のシステムと同じ、完全なノイズリダクションです。テープの前で信号を圧縮（エンコード）し、テープの後で伸張（デコード）します。**SOFT** は 1.5:1、**HARD** は 2:1 の比率で動作します。

- **新しいテープでは**透明で、ノイズを下げます。
- **摩耗したテープでは**呼吸し、ポンピングします。デコーダーは新しいテープに合わせて調整されています。摩耗したテープではノイズが増え、高域が失われ、ドロップアウトが起こり、エキスパンダーがその変化を倍にします。これは、本物のノイズリダクションを古いテープに使ったときと同じ現象です。
- コンパンダーがオンのときは、エンコーダーがテープの前でピークを下げるため、テープの飽和が少なくなります。

> おすすめ
>
> ほとんどの用途では、コンパンダーは **SOFT** がおすすめです。ポンピングを最大限に聴くには、**CARGAR CINTA** › 200 時間にして、COMPANDER を **HARD** にします。

OVERSAMPLING 4X · 8X · 16X · 初期値 4X

サチュレーションの品質です。サチュレーションをサンプルレートの 4 倍、8 倍、16 倍で計算します。**8X** と **16X** は、CPU 負荷が増える代わりにエイリアシング（高域に生じる不自然な歪み）を減らします。レイテンシーは変わらず、再生中にクリックノイズなしで切り替えられます。ファクトリープリセットはこのセレクターを変更しません。

06

ノブ、メーター、ボタン



ノブの操作 (14)：クリックして上下にドラッグするか、マウスホイールを回します。ドラッグ中はノブの上に値が表示されます。ダブルクリックで初期値に戻ります。現在の値は常に名前の下に表示されます。

DESGASTE 摩耗 · 0〜100 % · 初期値 100 %

蓄積した経年をどれだけ聴かせるか。摩耗を操作するノブなので、これだけが琥珀色です。セクション 04 を参照してください。

WOW 0〜100 % · 初期値 30 %

速度の不安定さです。ワウ（約 0.5 Hz のゆっくりした揺れ）とフラッター（約 11.5 Hz の速い揺れ）を含みます。100 % ではワウがテープを約 1 ミリ秒動かします。スタジオ用マシンと同程度です。テープの経年と低い速度で大きくなります。ピッチがわずかに揺れるため、ボーカルや音程のある楽器では控えめに使ってください。

HISS 0〜100 % · 初期値 35 %

テープノイズのレベルです。100 %、新品テープ、15 IPS、GP9 のとき、ノイズは −46 dBFS です。速度、テープの種類、経年度、コンパンダーによって変わります。0 % ではヒスは出ません。このノブはプリントスルーとドロップアウトには影響しません。

BUMP 0〜6 dB · 初期値 0 dB

ヘッドによる低域の盛り上がりを追加します。シェルフではなくベル型のカーブで、各速度のバンプ周波数（7.5 IPS で 50 Hz、15 IPS で 70 Hz、30 IPS で 110 Hz）を中心にかかります。各速度にもともとあるバンプに加算されます。値を上げて RECORD を HIGH にすると、低域が太くなり、急に崩れることなく飽和します。

MIX 0〜100 % · 初期値 100 %

元の信号と処理後の信号のバランスです。レイテンシー補正されているため、コムフィルターを起こさずにパラレル処理ができます。0 % では元の信号だけが出ますが、テープは走行を続け、劣化も進みます。

OUTPUT −12〜+12 dB · 初期値 0 dB

MIX の後の最終出力レベルです。

メーター



VU (10)

出力ではなく、RECORD の後でテープに入るレベルを測ります。0 VU は −20 dBFS RMS に相当します。目盛りは −20 から +3 までです。針が頻繁に 0 を超えると、テープの飽和が増えます。

カウンターと EDAD (11, 12)

カウンターは使用時間を時間単位で表示します。その下に、小数点以下 2 桁の時間、EDAD（経年度）のパーセント、経年度バーが表示されます。

HF (17)

SPEED、TAPE、経年度、DESGASTE ノブに応じて、現在の高域の上限を表示します。テープの摩耗具合をもっとも手早く知る方法です。

BYPASS

BYPASS ボタン **(6)** は、比較のために元の信号をそのまま通します。オンのときはボタンがテラコッタ色になります。

- 元の信号はレイテンシー補正され、音量も変わらずに出力されます（OUTPUT もかかりません）。そのため公平に比較できます。
- 切り替えには 30 ミリ秒のフェードがかかり、クリックノイズは出ません。
- オンの間はテープが劣化せず、リールも止まります。
- プラグインのバイパスパラメーターです。このパラメーターを使う DAW（ほとんどの DAW）では、DAW 側でプラグインをオフにするとこのボタンもオンになります。
- オートメーションが可能です。プリセットには保存されず、プリセットで変わることもありません。

07

プリセット

Exotic Tape には、7 つのカテゴリーに分かれた 24 のファクトリープリセットがあります。カテゴリー **(2)** を選んでからプリセット **(3)** を選ぶか、**< > (4)** で順に切り替えます。

プリセットで変わるもの、変わらないもの

プリセットでテープの経年度が変わることはありません。ファクトリープリセットは EMPHASIS と OVERSAMPLING も変更しません。ただし `FIJAR DESGASTE` は変更します。Fresh Box、Master Bus、Half Inch Glue はオンにし、それ以外はオフにします。テープを固定していた場合は、プリセットを読み込んだ後に確認してください。

FX カテゴリーの多くのプリセットは、使用時間のあるテープでこそ個性が出ます。`CARGAR CINTA` で 20 時間または 200 時間のテープを読み込んでください。

カテゴリー	プリセット	音の特徴
EXOTICO	Studio Reel	基本の設定。15 IPS、456 テープ、すべて控えめ。
	Mother Reel	マスターテープ。30 IPS、GP9、HARD コンパンダー、LOW で録音。クリーンで開放的。
	Late Session	SOFT コンパンダーで熱めに録音。ワウとノイズが多め。
	Sun Bleached	7.5 IPS。太い低域、短い高域、はっきりした揺れ。
	The Archive	HARD コンパンダーと多めのヒス。テープが呼吸し、ポンピングする。
	Fresh Box	リファレンス。DESGASTE 0、FIJAR DESGASTE オン。常に新品のテープの音。
DRUMS	Reel Drums	15 IPS、RECORD HIGH のドラム。パンチと飽和感があり、揺れは少ない。
	Room Squash	7.5 IPS、RECORD HIGH。ルームをつぶし、キックを太くする。
	Tight 30	30 IPS と GP9。締まったトランジェントと整った低域。
BASS	Round Low	バンプとサチュレーションでベースを丸くする。
	Sub Reel	7.5 IPS のバンプと高めの BUMP でサブベースを強調。出力 −1 dB。
KEYS	Wurli Reel	はっきりしたワウと柔らかい高域。エレクトリックピアノ向け。
	Tape Pads	多めのワウと SOFT コンパンダー。漂うパッドやコード向け。
	Clean Rhodes	30 IPS のクリーンなテープと HARD コンパンダー。控えめな色付け。
VOCALS	Vocal Print	明瞭さを保ったままボーカルに暖かさを加える。
	Worn Vocal	古いテープのボーカル。暗く、飽和し、揺れがある。
MASTER	Master Bus	30 IPS と GP9、FIJAR DESGASTE オン。マスターに控えめなまとまりを。

カテゴリー	プリセット	音の特徴
	Half Inch Glue	15 IPS と 456、FIJAR DESGASTE オン。ミックスをひとつにまとめる。
	Parallel Tape	熱いテープを元の信号に 45 % で混ぜる。
FX	Breathing NR	HARD コンパンダーと多めのヒス。古いテープにかけたノイズリダクションの呼吸。
	Ghost Layer	7.5 IPS と HARD コンパンダー。現れては消えるレイヤー。
	Storage Room	何年もしまわれていたテープ。
	Slow Warp	WOW を最大に。ピッチがゆっくりと曲がる。
	Dead Reel	すべてを極端に。最悪の状態のテープ。

自作プリセット

1. 音を調整し、**SAVE** **(5)** をクリックします。
2. 名前を入力して保存します。プリセットは **USER** カテゴリーに表示されます。

自作プリセットには、EMPHASIS、OVERSAMPLING、FIJAR DESGASTE を含むすべてのコントロールが保存されます。テープの経年度と BYPASS は保存されません。`.ltpreset` ファイルとして次の場所に保存されます。

- Windows：`ドキュメント\Exotico Records\Exotic Tape\Presets`
- macOS：`書類/Exotico Records/Exotic Tape/Presets`

プリセットを削除するにはファイルを削除します。共有するには、別のコンピューターの同じフォルダーにファイルをコピーします。

08

セッションでの使い方

ウィンドウサイズ

パーセント表示のボタン **(8)** をクリックし、75 %、100 %、125 %、150 %、200 % から選びます。ウィンドウの右下の角をドラッグしてサイズを変えることもできます。縦横比は保たれます。

オートメーション

すべてのノブとセレクター、`FIJAR DESGASTE`、`BYPASS` はパラメーターなので、DAW でオートメーションできます。`CARGAR CINTA` と `CINTA NUEVA` はパラメーターではなく操作なので、オートメーションできません。

活用例：

- イントロで **HISS** と **WOW** を少しずつ上げ、曲を古いテープのように始めて、ドラムが入るところでクリーンにする。
- **MIX** をオートメーションして、あるセクションでクリーンな音からテープの音へ移る。
- **DESGASTE** をオートメーションして、曲の進行とともにループを古びさせる。

セレクターは段階的に切り替わり、なめらかには変化しません。なめらかに変化させたいときはノブをオートメーションしてください。

負荷とレイテンシー

- Exotic Tape には約 4 ミリ秒の固定レイテンシーがあり、DAW に通知されます。DAW が自動で補正します。
- OVERSAMPLING を切り替えてもレイテンシーは変わりません。
- CPU に余裕がないときは、OVERSAMPLING を 4X にしてください。
- アニメーションは毎秒 30 フレームまでに制限され、動くものがないときは止まります。トランスポートが止まっていれば、画面はほとんど CPU を使いません。

用途別のヒント

用途	設定の目安
マスター、ミックスバス	新しいテープ、または FIJAR DESGASTE オン。GP9、15 または 30 IPS、COMPANDER は OFF か SOFT。MIX を 50〜100 % で試してください。マスターには新しいテープがもっともおすすめです。
ドラム	RECORD HIGH、15 IPS、BUMP 1〜3 dB。キックをより太くしたいときは 7.5 IPS。
ローファイ、ブーンバップ	7.5 IPS、456、20〜200 時間のテープ、WOW 40〜60 %、COMPANDER SOFT。
ボーカル	15 IPS、WOW は低め（ピッチに影響）、DESGASTE は控えめ。
ベース	BUMP 3〜5 dB、RECORD HIGH。
エフェクト、テクスチャー	200 時間のテープ、COMPANDER HARD、WOW は高め。FX カテゴリーも参照してください。

09

よくある質問

› 摩耗は具体的に何をしますか？

テープは、通ったオーディオの時間を数えています。その時間に応じて高域が下がり、ノイズが増え、ワウが大きくなり、ドロップアウトとひとつ前の巻きの小さなエコーが現れ、テープが早く飽和するようになります。DESGASTE ノブで、それをどれだけ聴かせるかを決めます。詳しくはセクション 04 を参照してください。

› プラグインの色が変わったのはなぜですか？

テープが古くなったからです。シャーシとリールの画像は、カウンターと同じく EDAD のパーセントに応じて変わります。不具合ではありません。

› トランスポートが止まっているのに使用時間が増えるのはなぜですか？

入力に信号が入っているためです。たとえば、再生を止めたまま音を何度も鳴らすと、テープが走行して使用時間が加算されます。プラグインの前に常時ノイズを出すものがある場合も同じです。加算させたくないときは FIJAR DESGASTE をオンにしてください。

› 別のインスタンスを開いたら 0 % でした。正常ですか？

はい。インスタンスごとに専用のテープがあり、新しいインスタンスは新しいテープで始まります。別のトラックでも同じ摩耗にしたいときは、CARGAR CINTA を使うか、DAW が対応していればプラグインを状態ごとコピーしてください。

› 待たずに最大の摩耗を聴くには？

DESGASTE を 100 % にして、CARGAR CINTA › Very worn - 200 hours をクリックします。

› 中間の摩耗を選べますか？

はい。200 時間のテープを読み込み、FIJAR DESGASTE をオンにして、DESGASTE ノブを好みの位置に合わせます。セクション 04 の「摩耗の量を正確に選ぶには」を参照してください。

› 使いすぎたテープを元に戻せますか？

いいえ。CINTA NUEVA と CARGAR CINTA は現在の経年度を置き換えます。音を保ちたいときは FIJAR DESGASTE をオンにするか、DESGASTE を下げてください。テープを失いたくない場合は、プロジェクトのコピーを保存しておいてください。

› プリセットを読み込んでも経年度が変わりません。

それで正常です。プリセットはマシンの音の設定を保存するもので、テープの経年度は保存しません。

› BUMP ノブはシェルフですか？

いいえ。低域にかかるベル型のカーブで、速度に応じて 50、70、110 Hz を中心にかかります。

› RECORD は何をしますか？

出力の音量をあまり変えずに、テープに入るレベルを変えます。HIGH は飽和が増えてヒスを隠し、LOW はテープをクリーンに保ちます。セクション 05 を参照してください。

› DAW にバイパスがあるのに、BYPASS は必要ですか？

同じバイパスを、プラグインの中からワンクリックで操作できます。レイテンシーを補正し、OUTPUT もかからないため、公平に比較できます。オンの間はテープが劣化しません。

› 2 回書き出すと同じ音になりますか？

はい。書き出しの間は経年度が変わらないため、同じ音になります。ノイズとドロップアウトはランダムなので、2 つのファイルはサンプル単位では一致しません。

› DAW がプラグインを見つけません。

正しいフォルダーにあるか確認し、再スキャンしてください。Ableton Live ではシステムの VST3 フォルダーをオンにします。Live 10 は VST3 を読み込めないため、Mac では AU 版を使ってください。セクション 02 を参照してください。

› モノラルトラックでも使えますか？

はい。モノラルでもステレオでも使えます。

› プラグインは何語ですか？

コントロール名はどの言語でも同じで、一部はスペイン語です（セクション 01 の一覧を参照）。コントロールの上でポインターを止めると、短い説明（ヘルプ）が表示されます。ヘルプは、システムがスペイン語ならスペイン語、それ以外は英語で表示されます。

10

仕様とサポート

項目	内容
モデル	Exotic Tape · ET-06 · バージョン 1.0.1（テストビルド）
フォーマット	VST3（Windows、macOS）· Audio Unit（macOS）
OS	Windows 10 / 11（64 ビット）· macOS 11 以降（Intel、Apple Silicon）
チャンネル	モノラル、ステレオ
サンプルレート	DAW で使用するすべてのレート
レイテンシー	固定、約 4 ms、DAW に通知
サチュレーションのオーバーサンプリング	4×、8×、16×
テープの寿命	最大 500 時間、プロジェクトに保存
プリセット	7 カテゴリー、24 のファクトリープリセットと自作プリセット
画面上のヘルプ	スペイン語、英語

オートメーション用パラメーター

DAW のパラメーター一覧には次の名前で表示されます。

パラメーター	コントロール	範囲	初期値
Record	RECORD	LOW · MID · HIGH	MID
Speed	SPEED / IPS	7.5 · 15 · 30 IPS	15 IPS
Tape	TAPE	456 · GP9	456
Compander	COMPANDER	OFF · SOFT · HARD	OFF
Emphasis	EMPHASIS	OFF · ON	OFF
Oversampling	OVERSAMPLING	4X · 8X · 16X	4X
Desgaste	DESGASTE	0〜100 %	100 %
Wow	WOW	0〜100 %	30 %
Hiss	HISS	0〜100 %	35 %
Bump	BUMP	0〜6 dB	0 dB
Mix	MIX	0〜100 %	100 %
Output	OUTPUT	−12〜+12 dB	0 dB
Fijar desgaste	FIJAR DESGASTE	オフ · オン	オフ

パラメーター	コントロール	範囲	初期値
Bypass	BYPASS	オフ · オン	オフ

サポート

このバージョンは非公開で、テスターコードを持つ Exótico Records のアーティスト専用です。共有しないようお願いします。

問題が起きたときは、次の情報を添えて **exoticorecords@gmail.com** までご連絡ください。

- 使用している DAW とそのバージョン
- OS とそのバージョン
- 行った操作と起きたことを、順を追って

私たちはすべてのメッセージを読み、テスター一人ひとりに返信します。

© 2026 Exótico Records. VST は Steinberg Media Technologies GmbH の登録商標です。Audio Units、macOS、Logic Pro は Apple Inc. の商標です。Windows は Microsoft Corporation の商標です。その他の製品名は各社の所有物であり、参照のためにのみ記載しています。